



ダイハツ タントエグゼ スバル ルクラ

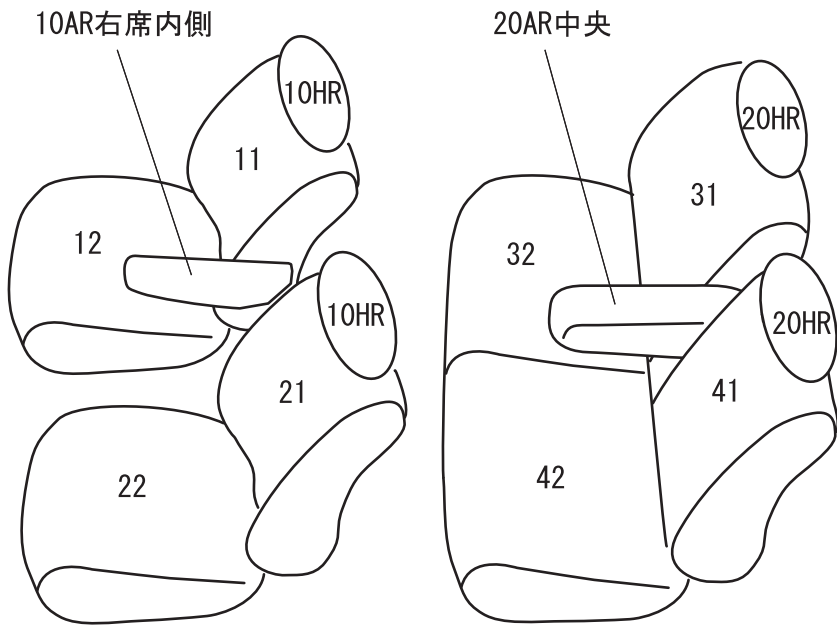
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

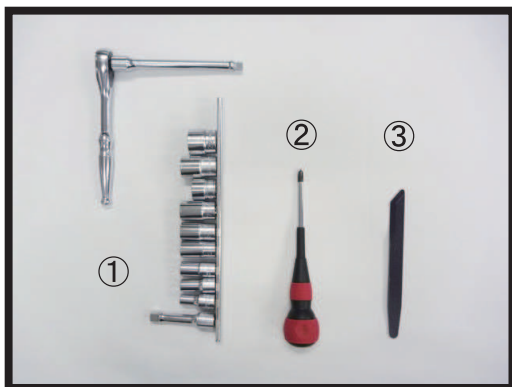
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0675/0676/0677/0678/0679

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具

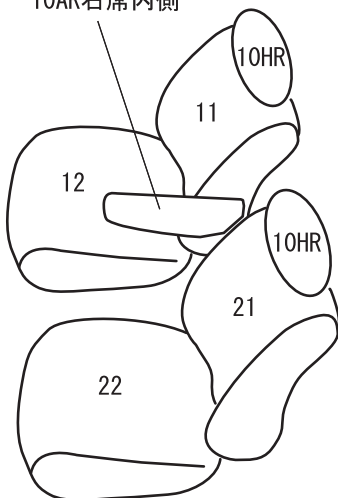


工具名

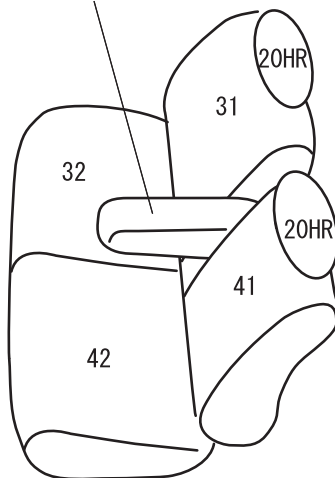
- ① ソケットレンチセット
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ (同梱)

0675 レイアウト図

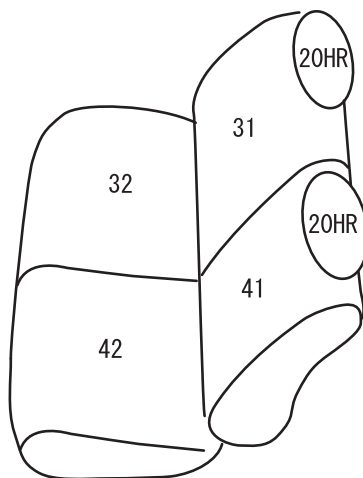
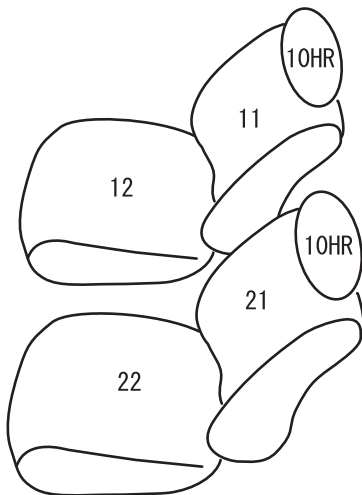
10AR右席内側



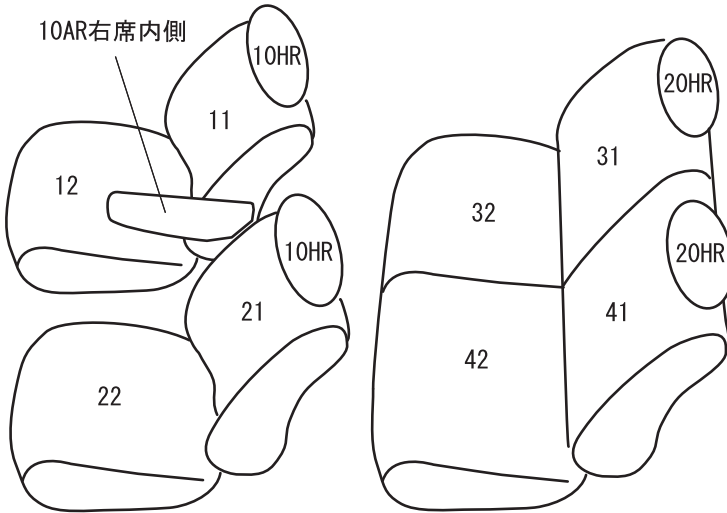
20AR中央



0676・0679 レイアウト図



0677・0678 レイアウト図



0675 : 1列目・2列目アームレスト有り
運転席シートリフター有り

0676 : 1列目・2列目アームレスト無し
運転席シートリフター無し

0677 : 1列目アームレスト有り
2列目アームレスト無し
運転席シートリフター無し

0678 : 1列目アームレスト有り
2列目アームレスト無し
運転席シートリフター有り

0679 : 1列目・2列目アームレスト無し
運転席シートリフター有り

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

コンビニフックについて

- ・一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておられません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。
- ※フックがツメのみで固定されている場合、フック取り外しの際に破損させてしまう恐れがあります。また、フック取り付け部とシートとの隙間が狭すぎる場合、カバーの生地が挟み込めず、加工には適さない場合があります。

1 列目座面

※シートリフター無し車は①②⑤⑦の作業は必要ありません。



①始めにシートリフターを外します。ヘラ等を使用してプラスチックカバーを外します。
※シートは一番高い位置に上げた状態にしておいて下さい。



④③と同じ部分です。シートアンダートレイが付いている車には、トレイのレールを一部外さないとゴムが外れません。レールはドライバーを使用し外します。



②プラスチックカバーを外すとネジが2本ありますのでドライバーで外します。ネジを外すとシートリフターが外れます。



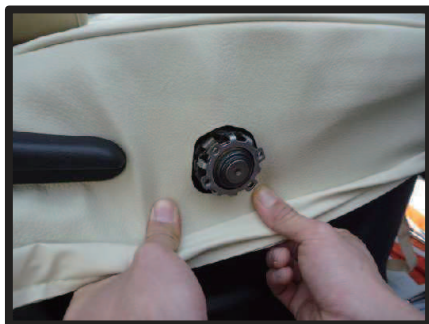
⑤シートベルトバックルを固定しているゴムを外します。



③シート背面下からシート裏を覆っているカバーを外します。カバーはゴムでシート裏に引っ掛け固定されています。



⑥カバーの取り付けを行います。始めにリクライニングレバーの隙間に生地を入れ込みます。



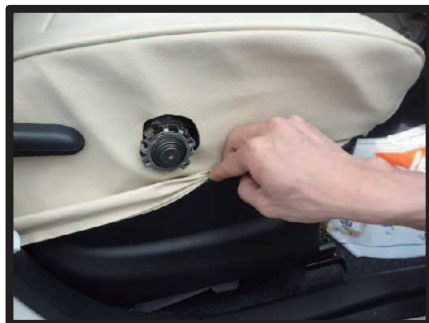
⑦シートリフターのダイヤル部分をカバーの加工穴から取り出します。



⑩入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。

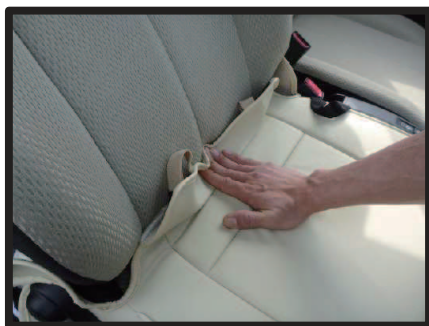


⑧カバーをシートのラインに合わせて全体にかぶせます。



⑪シート側面の生地をプラスチック部の隙間へ入れ込みます。内側も同様に入れ込んで下さい。

※図はシートリフター付き車です。



⑨背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



⑫シート前方に付いているベルトをシート裏から背面へ回します。ベルトは矢印部分の金属バーの上を通して下さい。



⑬ 1ページ⑫のベルトをシート背面から取り出し、⑩で引き出した生地についているバックルと固定します。



⑯ リクライニングレバー後方の生地をマジックテープで固定します。



⑭ バックルの固定は、①～③の順番にベルトをバックルに通してベルトを引くと、カバーの前後が引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫い目から切れる恐れがありますので、ご注意ください。



⑰ カバー側面に付いているゴムを付属のS字フックを使用して、図のように固定します。



⑮ カバー側面から出ているヒモは、片方のヒモで輪を作り、もう片方のヒモをその輪に通して引き絞り結び留めます。ヒモは強く引きすぎると切れる、または生地が裂ける等の恐れがありますので、ご注意ください。



⑩ シートのラインを整えて1列目運転席座面の完成です。助手席側は一部形状が違いますが同様に取り付けを行います。

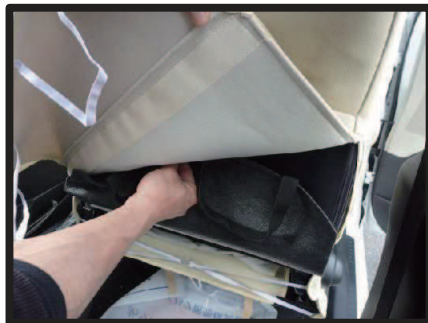
1 列目背もたれ

※助手席のショッピングフックは使用できなくなります。

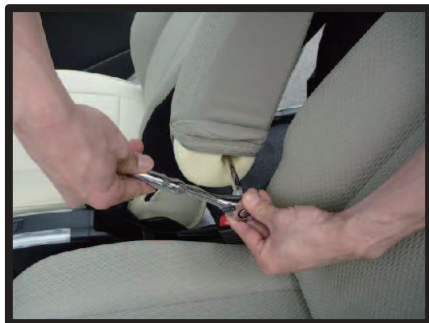
アームレスト無し車は①②の作業は必要ありません。



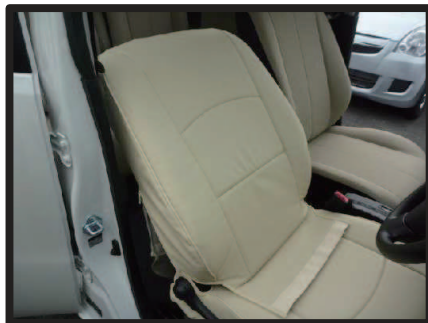
①運転席背もたれはアームレストを外してからカバーの取り付けを行います。アームレスト後方のファスナーを開き、図の赤丸位置にあるボルトが見えるまで生地をめくり上げます。



④1ページ③部分をめくり上げて、カバーの中へ収めます。



②ボルトはソケットレンチ等を使用して外し、アームレストを背もたれから外します。



⑤シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



③カバー側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分ほど裏返します。シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑦ 4ページ⑥で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



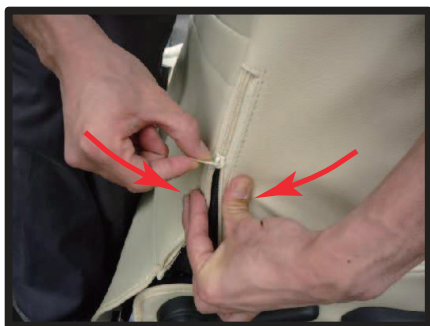
⑩ ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。片方の台座のフチに生地をしっかりと潜り込ませ、生地伸びを利用して台座を取り出します。



⑧ ①～③の手順で側面のシワをシート中央に寄せて、そのまま下になぞるようにカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面のシワが無くなるまで続けて下さい。



⑪ 台座部分を取り出すと図のようになります。



⑨ 図のように生地を内へ寄せながら側面のファスナーを閉じます。



⑫ シート背面下と⑦で引き出した生地をマジックテープで固定します。

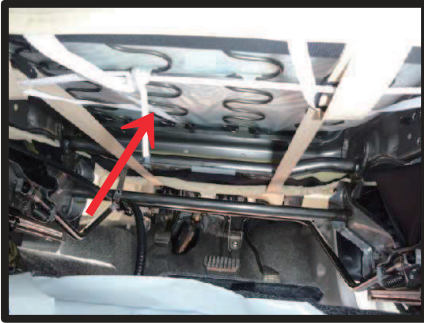
2列目座面



⑬カバー背面下にゴムが付いています。



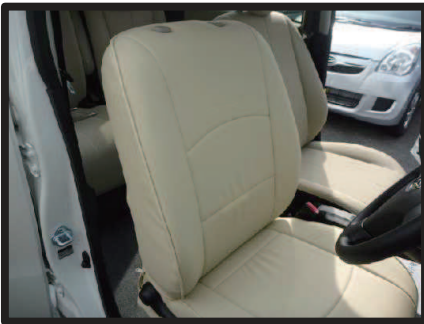
①カバーをシートのラインに合わせてシート全体にかぶせます。



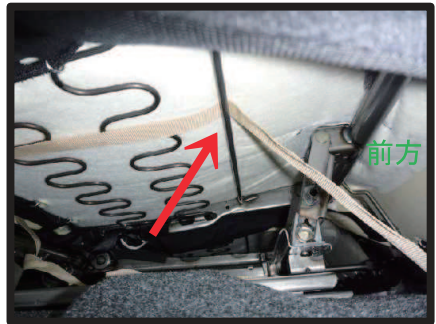
⑭ゴムは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



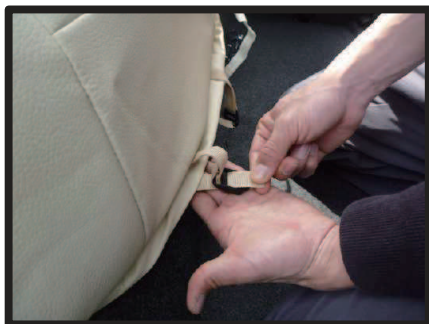
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



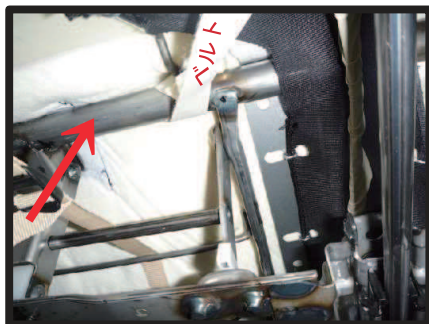
⑮シートのラインを整えて1列目運転席背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けを行います。



③②で入れ込んだ生地にベルトが付いています。ベルトは図のようにシート裏の金属バーの上を通してシート前方から取り出します。



④前方から引き出したベルトを固定します。



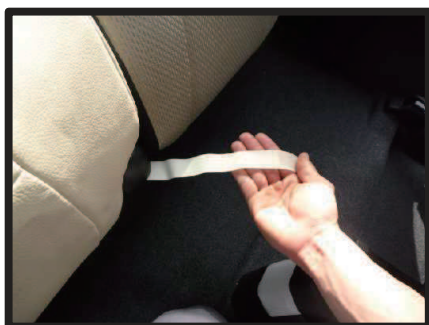
⑦マジックテープのベルトは矢印位置の太い金属バーに巻き付け固定します。ベルトの固定位置を間違えめすとシートの可動時にベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。



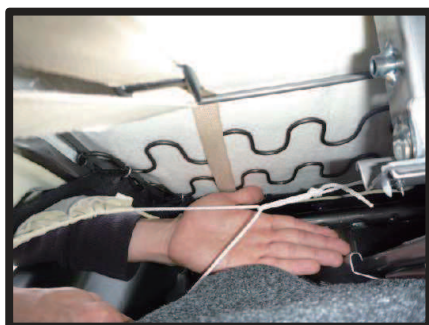
⑤ベルトをシート裏で固定した図です。



⑧カバーの両側面から出ているヒモをシートの外側面から取り出します。

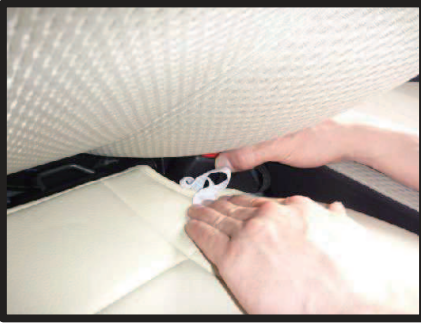


⑥スライドレバーがある位置にマジックテープのベルトが付いています。



⑨ヒモはシート裏で絞り込んで結び留めます。

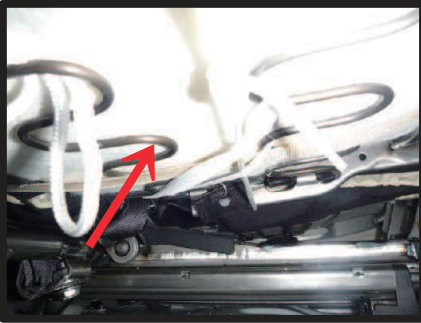
2列目背もたれ



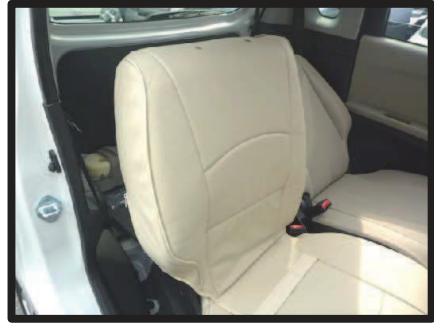
⑩シートベルトバックルのある位置にゴムが付いています。ゴムはバックルのある隙間から座面裏へと回します。



①カバー側面のファスナーを開けた状態で、カバーを半分ほど裏返します。シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑪ゴムは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



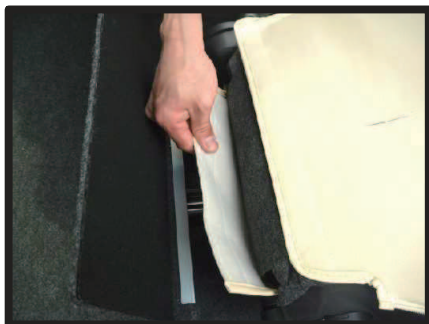
②シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



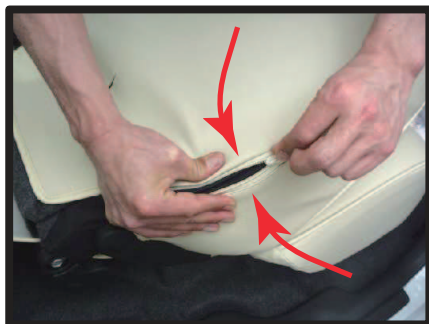
⑫2列目運転席側座面の完成です。助手席側は一部形状は違いますが同様に取り付けを行います。



⑬背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



④ 8 ページ③で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



⑦ 図のように生地を内側へ寄せながらファスナーを閉じます。



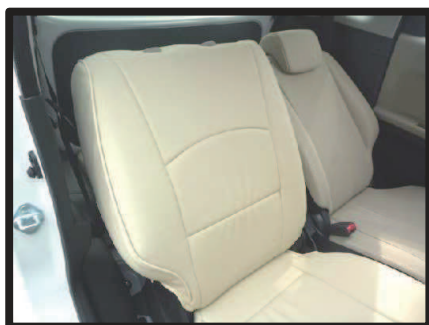
⑤ ヘッドレストの台座を取り出します。



⑧ ④で引き出した生地と背もたれ背面下をマジックテープで固定します。



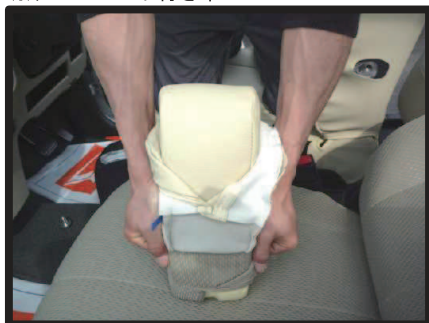
⑥ リクライニングレバーを取り出します。



⑨ 2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様に取り付けを行います。

アームレスト

※アームレスト付き車



①カバーを半分ほど裏返してアームレスト先端までしっかりとかぶせます。



④元のアームレスト生地のファスナーを閉じます。



②アームレストの内側のみカバーをかぶせます。一度アームレスト全体にカバーをかぶせ、外側のみ開くと作業が行いやすくなります。



⑤カバーのファスナーを閉じます。



③アームレストを背もたれに戻します。



⑥ラインを整えてアームレストの完成です。

図は1列目です。2列目アームレストも同様に取り付けを行います。

1 列目ヘッドレスト

※ヘッドレストカバーはかなりタイトに出来ています。取り付けには十分ご注意ください



①始めにヘッドレストの図の矢印部分にカバーを引っ掛けるように取り付けます。



④プラスチックフックの固定方法は、カギ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と共にはめ込み固定します。



②ヘッドレスト本体を指で押し潰しながら慎重にカバーを全体へかぶせませす。



⑤ヘッドレスト裏は図のようになります。



③ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたらシートから取り外して、ヘッドレスト裏のプラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストをシートに戻してカバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

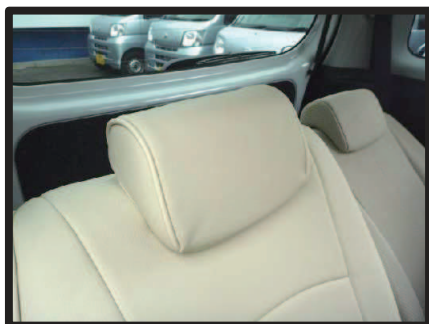
2列目ヘッドレスト



- ① 2列目ヘッドレストは先端から引っ掛けるようにして矢印方向へかぶせていきます。



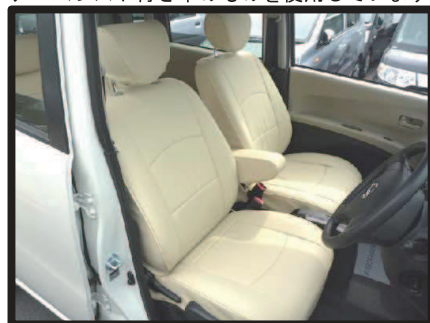
- ② 固定は1列目と同様にプラスチックフックで固定します。



- ③ ヘッドレストをシートに戻してカバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。

完成図

アームレスト付き車のものを使用しています。



1列目



2列目



2列目フルラゲッジモード

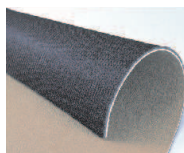


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。
- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。
- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。

